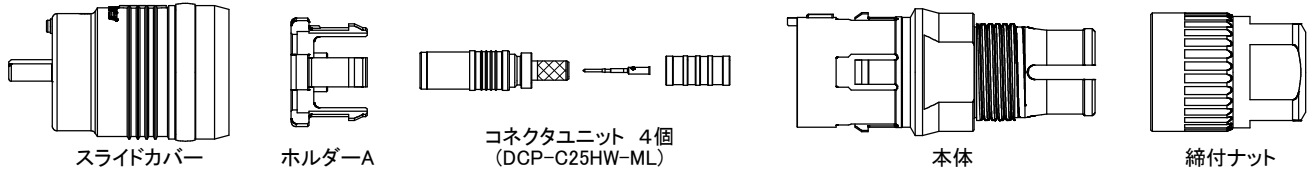


同軸マルチコネクタ(MDM-V4C25HW) 取付法

<部品名称>



<使用工具> 圧着工具:TC-1(工具本体), TCD-D253F(ダイス) / スパナ:21mm, 20mm(各1本)

- a.同軸マルチケーブル(V4-2.5CHW)に締付ナット、本体を順に、通しておく(図2)。ケーブル向きの指示あり(図1)。
- b.同軸マルチケーブルを図2の寸法に切り取る(ケーブルの介材は根元から切り取ること)。

図1

1

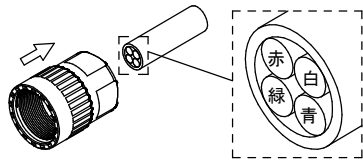
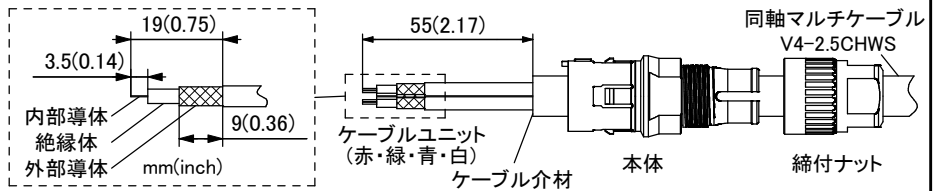


図2



- a.コネクタユニットの圧着スリーブをケーブルユニットに、通しておく。中心コンタクトをケーブル内部導体に差し込み、圧着工具で圧着する(図3)。

(注1)圧着状態が適正であることを確認するため、クリンプハイトを測定する。基準値は、1.08~1.16mm。
基準値外の場合は、圧着工具を調整すること。

(注2) 中心コンタクトの根元の段差部分は、圧着しないこと。(注3) 中心コンタクトと絶縁体との間にすき間がないこと(図4)。

(注4) 圧着後、中心コンタクトが傾いている場合は、真っ直ぐに修正すること(図4)。

- b.中心コンタクトをコネクタユニット本体に差し込み、コツンという感触がするまで押し込む。

(注5) ケーブルを軽く(4.9~9.8N)引き、中心コンタクトがロックされたことを必ず確認すること。

- c.圧着スリーブをコネクタユニット本体にあたるまで移動し、圧着工具で圧着する。

図3

2

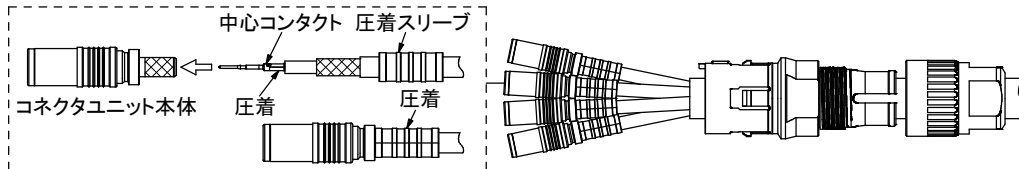
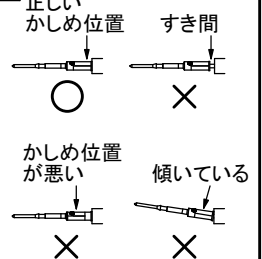


図4



- a.ホルダーAへ各コネクタユニットをはめ込む(図5)。

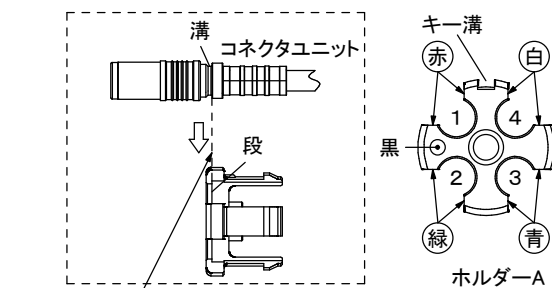
(注)コネクタユニットの取付配置は、ホルダーAの色とケーブル色が、一致するよう合わせる。

- b.ホルダーAのキー溝と本体のガイドを合わせながら、ホルダーAを本体へ差し込む(図6)。

(注)ホルダー側の爪が、本体側にロックしていること。

図5

3



*コネクタユニットの溝とホルダーAの段を合わせ、横からパチンと押し込む。

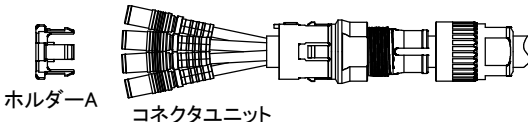
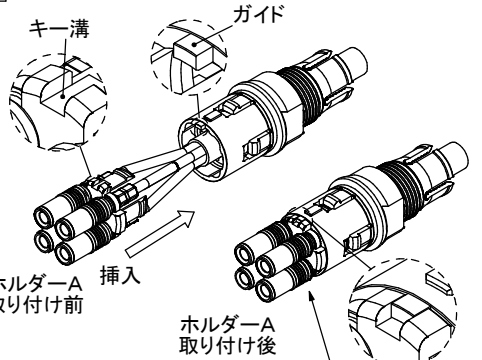


図6



*各コネクタユニットが、平行になるよう手でなじませる。

- a.スライドカバーの矢印形状と本体のキー位置を同軸上に合わせながら、スライドカバーを本体へロックするまで差し込む(図7)。

(注1)スライドカバーが、本体から抜けないこと。(注2)スライドカバーが、本体に対してスムーズに動くこと。

- b.本体を押さえながら、締付ナットを締め付ける(図8)。本体側21mm、締付ナット側20mmのスパナで締め付ける(トルク 5~6N・m)。

図7

4

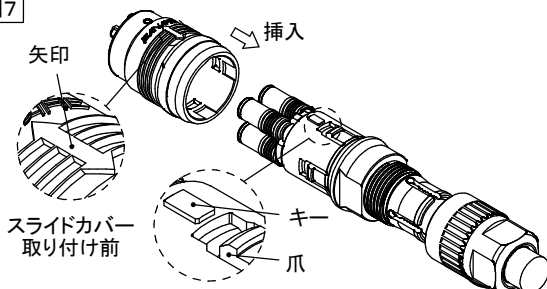


図8

